

静岡市で三人兄弟の真ん中に生まれた僕は、長男という「後継ぎ」と、待望の女の子の妹に挟まれて、いい感じにほつとかれて育ちました。自由気ままな幼少期。中学時代には週末になるとヒッチハイクで東京へ向かい、ライブハウスに入り浸り。高校ではジャズ喫茶で目をつむって身体をゆらしてみたり。大学では講義にはほとんど出ず、本と映画と酒とバイト三昧。いつも、周囲がやっていることは違う「なにか面白いこと」を探していたように思います。いま思えば、ただの天邪鬼かもしれません。

社会人になつてもその性分は変わらず、配属されるのは決まって新規事業や企画系プロジェクト。おかげでいろんな人と出会い、いろんな場所へ行きました。そして気づけば定年。二〇二一年、会社を卒業してからは、ふと「学芸員になろう」と思い立ち、大学に入り直して資格を取得しました。

全国の美術館を「流しの学芸員」としてハーレーで巡る旅もいいな:と思つていたのですが、「どうせなら自分の美術館をつくっちゃえば?」



(撮影 吹田哲二郎)



1周年特別企画で開催中の「藝プラ展」の様子

Art Gallery GE-SEN 藝泉（ゲーセン）

築150年を超える古民家ギャラリー
所在地：京都市上京区片原町1033-2
OPEN：毎週末祝日の13時～18時
日程等はinstagramでご確認ください。

@GEESEN2024

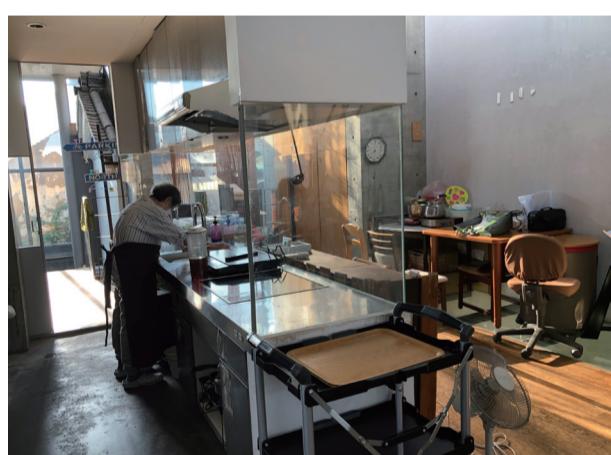
GE-PLA GENERATIONS Art Gallery GE-SEN

「暮らしを支える医療介護を創る」
(医) 永原診療会
京都市上京区千本五辻上る ☎ 461-0636
制作 びーぶる編集部 vivreoffice@gmail.com

表紙のひと

望月 秀城（もちづき ひでき）さん
Art Gallery GE-SEN 藝泉 センター長

きらくやごはしいただきます



食器洗いのお手伝い、いつもありがとうございます。

発酵あんなこんな

㉚ にごったお酒

山岡 茂和



良質のお酒は、しばしば澄み渡っています。グラスの向こうが透けて美味しいさが一層引き立ちます。澄んだ酒も劣化が進むと、何やら淀んだに「り」がでてきます。また、お酒を劣化させやすい成分が「に」として含まれていることもあります。その場合、より早く劣化することがあります。

こうしたことから、昔の人にとってお酒の「に」は「良くないもの」と、どちられ、様々な工夫で「に」を除こうとしました。上澄みをとつたり濾過したりを除こうとしました。上澄みをとつたり濾過したりをして含まっていることもあります。その場合、

しかし、実は「に」のなかには味を良くする成分もあるのです。そうした成分を活かし、あえて「に」らせたお酒も出てきました。

そのはしりといえば、どぶろくの再現を目指して六十年以上前に登場したに「に」り酒でしょう。また、古式の蒸留法を使った味わい深い芋焼酎にも「に」を謳っています。新しいものでは、穀物由来の「に」を持たせたビールが人気です。

に「に」つたお酒が新たに登場するのは、品質管理や成分分析の技術が向上し、これまで見逃していた美味しさを再発見した成果といえるでしょう。

今年度の研修の一つとして、嬉楽家内で映画鑑賞を行いました。タイトルは、「ぼけますから、よろしくお願ひします」数年前に報道番組の特集で放映され、それが映画になつたそうです。ご覧になつた方もあるでしょうか。番組プロデューサーの女性が、自身の両親を撮影したドキュメンタリーです。認知症の母親と、その夫である父親、時に自分自身も被写体となり、日々の様子が映し出されます。ドキュメンタリーが全て真実とは限りませんが、レンズを通して伝わる震えるような感情の波は、時に観る者の心を揺さぶります。言葉にならない感情をあふれさせます。映画を観終わつた後、一瞬静まりかえった会場とスタッフの表情が、それを物語っています。

さて、映画の評価はさておき、誰にもその人なりの物語があります。映画を見て何かを感じたとすれば、それは、映画の中の出来事を、言葉を、思いを、自分自身に、あるいは自分の身近な人に重ね合わせたからでしょう。映画鑑賞後の感想の中に、「こんな言葉がありました。「なぜベッドではなく布団の上げ下ろしをしているのか、なぜ這つて移動しているのに手すりを設置しないのか、傘を杖替わりに、スリッパで外出するのは転倒の危険があるので、など専門職ならではの疑問がわいてきそう」と。整えることがその人の大切な暮らしを壊してしまうこともあるということ、リスクと暮らしの間で、専門職だからこそ、その人自身から目をそらさない支援の方を考えなければなりません。

（文 田中）

「最も身近な相談窓口に」

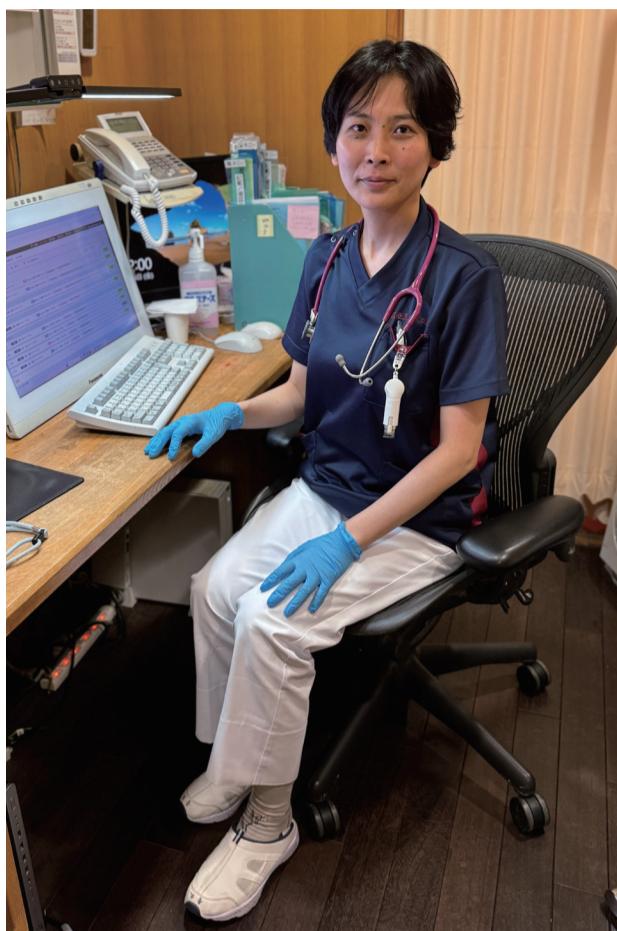
千本診療所 金曜日外来担当医 一般内科 医師

あおき やすこ
青木 寧子

平成15年に大学を卒業後、神経内科医になるべく、京都大学医学部附属病院と大津赤十字病院で初期研修を行いました。神経内科は、脳、脊髄、末梢神経、筋肉の病気を主に診る科です。手足の動かしにくさ、しひれ、ふらつき、頭痛、物忘れ、呂律が回らないといった症状が対象になります。

初期研修では主に脳梗塞、てんかん、髄膜炎といった急性期疾患の診療を行い、その後は東京都立神経病院という神経難病専門の病院で研修を行いました。パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症など、根本的な治療を出来ずに進行してゆき、生活活動そのものに支障をきたす疾患ばかりなので、対症療法を模索し、生活環境を整え、リハビリテーションに励んでいただくことが多くなります。

神経病院では、パーキンソン病および不随意運動症に対する深部脳刺激療法にふれる機会を得ました。薬物治療ではコントロールが難しい症状に対する脳外科治療です。劇的な改善を得ることもありますが、維持してゆくにはやはり神経内科的診療と地道なリハビリテーションが必要とします。そこで、初台リハビリテーション病院に勤めながら神経系疾患の回復期や廃用症候群のリハビリテーションに携わりました。大切なことは、再獲得した機能、あるいは残存機能を生活の中で使い



6月より
金曜日午前の
外来診療担当医に
なりました！

続けることです。活動を続けることの出来る生活環境が必要となります。

東京のどちらの病院も、規模は大きくありませんが訪問診療を行っており、退院後の自宅でのご様子を伺っていました。普段の診療は近隣のかかりつけ医が行い、こちらは3ヶ月に一度の訪問で専門分野と生活のご様子に目を配りました。利用者様あるいはご家族ご自身が、各自の疾患のエキスパートですので、驚くべき工夫をされており、教えていただけた側面が強かったです。

現在は、千本診療所で訪問診療を行っており、今年の6月からは金曜日午前の外来診療を担当させていただくことになりました。最も身近な相談窓口となり、皆様の健康と生活を一緒に守ってゆけるよう、やりがいを感じながら務めさせていただいている。



びーぶる編集部：吹田美智子 奈須佳世

■千本診療所（外来）診療予定表 ☎ 075-461-0636 FAX 075-466-2299

	月	火	水	木	金	土
9時～12時	一般内科 根津幸彦	一般内科 根津幸彦	一般内科 根津幸彦	漢方・一般内科 吉澤泰介	一般内科 青木寧子	一般内科 根津幸彦
16時～19時	一般内科 根津幸彦	休 診	休 診	漢方・一般内科 吉澤泰介	休 診	休 診

2025年6月より、外来診療時間・担当医を変更させて頂いています。

■千本診療所（訪問診療） ☎ 075-461-0636 FAX 075-466-2299

	月	火	水	木	金	土
午前	渡邊久美 一般内科	小田和哉 一般内科	池田識道 外科・一般内科	青木寧子 神経内科 一般内科	西村貴美子 一般内科	—
午後	—	根津幸彦 一般内科	根津幸彦 一般内科	青木寧子 神経内科 一般内科	—	—

当院は機能強化型在宅療養支援診療所として届け出済み（支援診2第4号）です。
上記以外の日につきましても、急変時には24時間365日対応致します。（緊急ダイヤル有）

■元気道場（千本診療所2Fリハビリフロア）

	月	火	水	木	金	土
9時～12時	○	○	○	○	○	○

※第4土曜日は、11時40分終了となります。

※金曜日の午前は理学療法士による評価がありますので、ご興味のある方はご相談ください。

■訪問看護ステーションまる ☎ 075-461-0634 FAX 075-466-2306

	月	火	水	木	金	土
9時～17時	○	○	○	○	○	○

■居宅介護支援事業所まる ☎ 075-461-0764 FAX 075-466-2306

	月	火	水	木	金	土
9時～17時	○	○	○	○	○	○

■淨福寺診療所（眼科）診療予定表 ☎ 075-441-1995 FAX 075-441-9576

	月	火	水	木	金	土
15時～18時	永原誠子 ※在宅診療	永原誠子 ※在宅診療	休 診	休 診	永原誠子 ※在宅診療	休 診

※火曜日は、往診・在宅診療のみです。

■通所介護 自在館嬉楽家 ☎ 075-441-9510 FAX 075-441-9560

事業所番号：2610200855 (介護予防) 地域密着型通所介護

ご利用日（日曜・年末年始休業）

	月	火	水	木	金	土
8時50分～17時50分	○	○	○	○	○	○

事業所所在地

◆千本診療所 〒602-8475 京都市上京区千本通五辻上ル牡丹鉢町 556

◆自在館ぽたんぼこ 〒602-8475 京都市上京区千本通五辻上ル牡丹鉢町 547

◆訪問看護ステーションまる

◆居宅介護支援事業所まる

◆淨福寺診療所（眼科） 〒602-8482 京都市上京区淨福寺上立売上ル大黒町 686

◆通所介護自在館嬉楽家 〒602-8482 京都市上京区淨福寺上立売上ル大黒町 686

